

授業科目 理学療法ゼミ II

【担当教員名】 佐藤 成登志 (他 14 名)		対象学年	4	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
1. ゼミ活動に参加して積極的な取り組みを行なう。					
2. 臨床実習 III に向けての準備を行なう。					
3. 理学療法士として必要な研究能力を身につけ、臨床研究で実践するための研究方法論を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 欠席や遅刻等をせずにゼミ活動に参加し、積極的なコミュニケーションを行なう。					
2. 臨床実習 III に向けての準備（検査測定、問題点抽出、目標設定、治療プログラムの立案・実施、総合オスキー）を行なう。					
3. 卒業研究を完成するための文献検索・抄読、機器操作、アンケート作成・調査、データ計測、結果の解釈などの研究方法の検索を行なう。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ゼミ活動 1			1, 2, 3	演習：各ゼミ担当教員
2	ゼミ活動 2			1, 2, 3	演習：各ゼミ担当教員
3	ゼミ活動 3			1, 2, 3	演習：各ゼミ担当教員
4	ゼミ活動 4			1, 2, 3	演習：各ゼミ担当教員
5	ゼミ活動 5			1, 2, 3	演習：各ゼミ担当教員
6	ゼミ活動 6			1, 2, 3	演習：各ゼミ担当教員
7	ゼミ活動 7			1, 2, 3	演習：各ゼミ担当教員
8	検査測定の知識・技術の再確認 1（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
9	検査測定の知識・技術の再確認 2（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
10	問題点の抽出、目標設定の再確認 1（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
11	問題点の抽出、目標設定の再確認 2（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
12	治療プログラムの立案、治療技術の再確認 1（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
13	治療プログラムの立案、治療技術の再確認 2（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
14	各種疾患に応じて演習 1（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
15	各種疾患に応じて演習 2（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
16	各種疾患に応じて演習 3（総合オスキー）			1, 2	演習：オスキー担当教員
17	研究計画の立案 1			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
18	研究計画の立案 2			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
19	文献検索・抄読 1			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
20	文献検索・抄読 2			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
21	機器の操作 1			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
22	機器の操作 2			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
23	データ計測・解析 1			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
24	データ計測・解析 2			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
25	結果の解釈 1			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
26	結果の解釈 2			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
27	プレゼンテーション準備 1			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
28	プレゼンテーション準備 2			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
29	論文作成 1			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
30	論文作成 2			1, 3	演習：各ゼミ担当教員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
ゼミ活動への参加状況、卒業研究への取り組み姿勢などを総合的に判断して行なう。			各ゼミの学生が主体となって実施する。実施日程や内容等、進行の仕方は、各ゼミで異なる。		